



# 心ひとつに

校訓「心ひとつに 明日を拓く」  
教育目標「気づき、考え、行動する生徒の育成」

美郷町立美郷中学校  
令和6年7月11日  
文責：校長



\* 本校ホームページ→

## 授業改善研修



5日に秋田大学大学院教育学研究科の〇〇〇〇教授を指導者にお招きして、校内研修の充実と授業力向上を目的とした校内研修会を行いました。授業者は〇〇〇〇教諭で、3年2組の数学の授業を全職員で参観し、その後「対話

的な学びを通して、数学的な見方・考え方を働かせながら主体的に問題解決する生徒を育成する」ための授業の在り方について研修を深めました。〇〇教授からは、生徒が最後まで集中力を欠くことなく、仲間と協力しながら2次方程式の解法について学びを深めていた点や、本校の研修態勢がテーマを共有することで教科の枠を越えた効果的なスタイルになっているとのことをお話をいただきました。指導いただいたことを参考に、更に全職員で研修を推進してまいります。

## 教育委員訪問



8日に美郷町の〇〇〇〇教育長と教育委員の〇〇〇〇様、〇〇〇〇様、〇〇〇〇様、〇〇〇〇様、〇〇〇〇教育推進監、〇〇〇〇教育推進課長、〇〇〇〇教育推進課参事の訪問がありました。2・3校時で全学級の授業を参観いただき、その後、

校長による学校経営説明と懇談を行いました。懇談では、「学びに向かう生徒の目が輝いていた」「1人1台のタブレットや顕微鏡などの恵まれた環境を生かした効果的な授業が行われていた。」「1人目の発表を基に次々と他の生徒が発表をつなぐ主体的な学びが見られた。」「生徒同士で話し合い、教え合える良い雰囲気があった。」「調理実習では、各自が役割分担をしっかりと認識して、同時進行で効率的に活動していた。」等の感想をいただきました。また、グループ活動時の配慮やICT機器の更なる活用等についてはご指導をいただきましたので、今後に生かしてまいります。

## あいさつ運動



4日の登校時に、更生保護女性の会や大仙保健所、保護司の方等、10名以上の方々が、本校を訪れて、あいさつ運動を行いました。また、あい

さつとともに、「薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』』と書かれたティッシュペーパーとパンフレットが手渡されました。パンフレットには、薬物使用への甘い誘いの言葉の具体例が記され、防止するための方法として「危険性が身近にあり、自分には関係ないと思わないこと」「誘われても『ダメ。ゼッタイ。』と断ること」「一人で悩まないで友人や家族に何でも相談すること」の3つが書かれてありました。例えば1回使用しただけでも乱用になります。違法薬物にとどまらず、オーバードーズ（一般医薬品の乱用）の危険性も大きな社会問題となっています。

## 学年ネーム決定



1年生の学年ネームが『珊瑚～一人一人の輝きを大切に、互いに高め合い、唯一無二の存在に～』に決定しました。赤い珊瑚は最高品質の宝石の素材であり、将来輝く宝石のような存在となれるように努力と研鑽を積み重ねる学年でありたいとの願いが込められています。また、「 $3 \times 5$ （さんご）= 15」から15期生であることも表しているようです。

## 生徒の活躍



☆ 第75回  
県民スポーツ大会  
バドミントン  
2部青年女子シングルス  
準優勝 ○○○○

←左から ○○○○  
○○○○  
○○○○

「県強化指定選手指定証」を伝達